

NC テクニカルセミナー 2022 概要

実務経験に応じて段階的に受講いただける全 12 講座を開設いたします。

■ 基礎コース ■ 上級コース

	講 座 名	
握索装置	■ 握索装置-DS1〈特殊索道・DS型〉 ■ 握索装置-DT1〈特殊索道・DT型〉 ■ 握索装置-DT2〈普通索道・DT型〉	
電気	■ 電気A ※旧：電気-初級	■ 電気B ※旧：電気-中級 ■ モーター・制御システム
油圧	■ 油圧	■ 油圧・電気
主要機器	■ 場内装置メンテナンス ■ ワイヤロープの保守	

※2019年度より、「電気-初級」が「電気A」に、「電気-中級」が「電気B」に講座名が変更になりました。
 ※握索装置-DS2〈普通索道・DS型〉については、本年度の開催はございません。(2023 年度開催予定)

NCテクニカルセミナー 2022 カレンダー

- 1 講座2泊3日のスケジュール(「油圧・電気」のみ3泊4日)です。
1 週間で2講座を連続受講することも可能です。
- 集合時間は開講日の13:00、解散時間は最終日の12:00 です。

■ 基礎コース ■ 上級コース

	日	月	火	水	木	金	土
5月	5/29	30	31	6/1	2	3	4
		握索装置-DS1		握索装置-DT1			
	6/5	6	7	8	9	10	11
		握索装置-DT2		ワイヤロープの保守			
6月	6/12	13	14	15	16	17	18
		電気 A <1 回目>		電気 B			
	6/19	20	21	22	23	24	25
		電気 A <2 回目>		油圧 <1 回目>			
	6/26	27	28	29	30	7/1	2
		油圧 <2 回目>		場内装置メンテナンス			
7月	7/3	4	5	6	7	8	9
				モーター・制御システム			
	7/10	11	12	13	14	15	16
		油圧・電気					

お申し込み・お問い合わせ

- お申し込み
お問い合わせ先 日本ケーブル株式会社 テクニカルセミナー事務局 担当：岡崎
TEL：03-3292-1213(直通) FAX：03-3292-1187
- お申し込み方法 お申込書に必要事項をご記入のうえ、日本ケーブルテクニカルセミナー事務局宛に FAX にてお申し込みください。なお、弊社ホームページからもお申し込みが可能です。
詳しくは弊社ホームページ (https://www.nipponcable.com) をご覧ください。
- お申し込み期限 各コースとも講座開始日の3週間前に締め切らせていただきます。
(お申し込み期限の前でも定員になり次第締め切らせていただきます。また、申込人数が少ない講座は休講とさせていただきますので、あらかじめご了承ください)
- 受講料 お申し込み後、弊社から「お申込内容確認書」をお送りいたします。受講料は、確認書が到着後、講座開始日の2週間前までに下記口座にお振り込みください。
(振込手数料はお客様のご負担でお願いいたします)
【振込先】三菱 UFJ銀行 錦糸町支店 普通 0745184 【振込先名】日本ケーブル株式会社 セミナー専用口座

	1 講座 (2泊3日)	油圧・電気 (3泊4日)
受講料	40,000円(税込)	50,000円(税込)

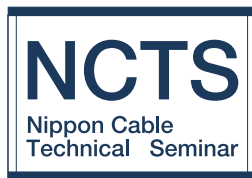
 ※宿泊は各自でご手配ください
 ●受講料に含まれるもの・・・テキストおよび講座 2 日目、3 日目、4 日目 (油圧・電気のみ) の昼食
- セミナー会場 日本ケーブル株式会社 本社工場 〒275-0024 千葉県習志野市茜浜3丁目1番4号
TEL. 047-451-7111

受講までの流れ

- お申し込みいただきます。(お客様)
※この段階では、仮受付となります。
弊社より「お申し込み内容確認書」を数日以内に FAX、またはメールにてお送りさせていただきます。
- お申し込み内容をご確認のうえ、受講料を講座開始日の 2 週間前までにお振り込みいただきます。(お客様)
※お振り込みをもちまして、正式にお申し込みの受付となります。
受講証・予習テキストを、講座開始日の 10 日前までに弊社より送付いたします。
- 当日、集合時間 (13:00) までにご来場ください。(お客様)
※受講証・予習テキストをご持参ください。

お申し込みの際の留意点

- 受講に必要な作業着・作業靴等は、弊社にてご用意いたします。
- 講座期間中の業務上災害・通勤災害への付保等については、貴社のご負担にてお願いいたします。
- 会場内での写真撮影・録画・録音等は一切禁止とさせていただきます。
- 千葉県を対象地域として特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が発令された場合は、「緊急事態宣言」期間中のセミナーは中止とさせていただきます。開催前に中止となった場合には、受講料はご返却いたします。
- 受講開始日において 2 回以上のワクチン接種が完了し、接種から 2 週間以上が経過していることを受講の条件とさせていただきます。
※申込時にワクチン接種済証もしくは予防接種済証のコピーの添付をお願いいたします。
※申込時に未接種で受講開始までにワクチン接種完了予定の方は、申込時に接種スケジュールを確認させていただいたうえで、受講日当日までにワクチン接種記録を確認させていただきます。



2022 NCテクニカルセミナー

Nippon Cable Technical Seminar

NC テクニカルセミナーは、索道事業に携わる技術者の方に、「索道輸送の安全」を確保するために必要な整備技術・運行トラブルの対処方法を知得いただくことを目的としたセミナーです。これまでの開催実績は26回を数え、延べ2,800名の方に受講いただいております。
 実習主体のカリキュラムで、2022年度は実務経験に応じて段階的に受講いただける全12講座を開設いたします。



基礎コース

握索装置

自動循環式索道の握索装置の構造や機能、メンテナンス、トラブル対応を習得します。

	握索装置－DS1 ＜特殊索道・DS 型＞	握索装置－DT1 ＜特殊索道・DT 型＞	握索装置－DT2 ＜普通索道・DT 型＞
開催日	2022年5月30日(月) ～6月1日(水)	2022年6月1日(水) ～6月3日(金)	2022年6月6日(月) ～6月8日(水)
定員	9名(予定)	9名(予定)	4名(予定)

対象 握索装置の整備に携わる方で、握索装置の基本構造を理解している方

概要	目標レベル
	●自動循環式索道の握索装置の構造や機能を理解できる ●握索装置のメンテナンスやトラブルに対応できる
	講習プログラム
	【構造説明】 各型式の握索装置の詳細構造、各部品の動作 【トラブルシューティング】 トラブル事例の原因とその対応策
	実習プログラム
	【解体および組立の手順】 各型式の握索装置の実機を使用した握索装置解体・組立の手順 【整備基準と寸法測定】 整備基準に従った部品・組立品の寸法測定と記録 【解体整備】 寸法測定に基づく部品交換の判断および注意点 【握索装置と場内装置との関係】 出発・到着装置の動作確認と測定治具の説明、測定方法



基礎コース

ワイヤロープの保守

ワイヤロープの種類と構造を学び、メンテナンス方法や交換基準の判断能力を身につけます。

開催日	2022年6月8日(水)～6月10日(金)
定員	15名(予定)
対象	ワイヤロープのメンテナンスに携わる方、または切詰・交換時期の予測判断力を高めたい方

概要	目標レベル
	●ワイヤロープの接索部分の構造や特性を習得する ●メンテナンス対応、交換基準の判断能力を習得する
	講習プログラム
	【ワイヤロープの基礎】 種類と構成 【保守点検】 伸びの推移と切詰時期の予想 診断検査(測定・ロープテスト) ロープへの給油 索線断線処理
	実習プログラム
	【模擬スプライス実演】 ワイヤロープの模擬スプライス作業の実演 スプライス部の構造と作業手順の確認 ワイヤロープ接索部分の正しい測定

基礎コース

場内装置メンテナンス

(自動循環式特殊索道・DT 型握索装置)

自動循環式特殊索道の場内装置の構造を基礎から学習します。

開催日	2022年6月29日(水)～7月1日(金)
定員	6名(予定)
対象	自動循環式特殊索道(本年はDT型握索装置)の場内装置のメンテナンスに携わる方

概要	目標レベル
	●自動循環式特殊索道の場内装置の構造を理解できる ●場内装置とその保安装置を正確に調整できる
	講習プログラム
	【場内装置の基礎知識】 基本的な構造 【場内装置・保安装置の調整】 具体的な調整方法 【トラブルシューティング】 トラブル事例の原因とその対応策
	実習プログラム
	【場内装置・各種保安装置の調整】 出発到着装置の寸法測定 不完全握索検出装置の調整と動作確認 押送Vベルトの調整

基礎コース

電気 A

※旧講座名：電気－初級

電気の初歩から、シーケンス(電気回路)の基礎、電気設備の概要を習得します。

開催日	<1回目>2022年6月13日(月)～6月15日(水) <2回目>2022年6月20日(月)～6月22日(水) ※2回開講。ご都合の良い日程をお選びください。
定員	15名(予定)

対象 索道の運行に携わる方

概要	目標レベル
	●シーケンス(電気回路)の基礎、電気設備の概要を習得する ●じか入れ始動盤を製作して始動回路の動作確認ができる ●測定機器を取り扱うことができる
	講習プログラム
	【電気の基礎理論】 直流回路、オームの法則、交流回路、磁界等の基礎理論 【シーケンスの基礎】 回路図の読み方 【測定器の取り扱い】 電気設備のメンテナンスに使われる測定器の取扱方法 【トラブルシューティング】 トラブル事例の原因とその対応策
	実習プログラム
	【じか入れ始動盤の製作】 小容量力ゴ形誘導電動機の始動回路の製作と動作確認 回路図に基づく製作手順の解説 【テスト・短絡線の取り扱い方法】 製作品によるテストや短絡線を使ったトラブル対応

上級コース

電気 B

※旧講座名：電気－中級

索道施設のシーケンス(電気回路)の読み方をマスターし、制御方式や制御理論を習得します。

開催日	2022年6月15日(水)～6月17日(金)
定員	15名(予定)
対象	「電気 A (旧：電気－初級)」を受講した方、または同等の知識を有する方

概要	目標レベル
	●より高度なシーケンス(電気回路)の読み方を習得する ●制御方式や制御理論を習得する ●制御関係のトラブルに対応できる
	講習プログラム
	【シーケンスの基礎】 回路図の読み方 【索道施設のシーケンス】 ベアリフト用サイリスタ制御の回路図の読み方 【制御方式】 索道設備の制御方式の解説
	実習プログラム
	【Y－Δ始動盤の製作・測定機器の取り扱い】 力ゴ形誘導電動機の始動回路の製作と動作確認 【テスト・短絡線の取り扱い方法】 製作品によるテストや短絡線を使ったトラブル対応 【模擬制御盤でのトラブル対応・測定器の取り扱い】 じか入れ始動盤、Y－Δ始動盤、コンドルファ始動リレー盤、コンドルファ始動シーケンサ盤、ASモータ模擬制御盤、サイリスタ制御盤を使用したトラブル対応



基礎コース

油圧

緊張装置・制動装置を動かす油圧装置の構造・メンテナンスを習得します。

開催日	<1回目>2022年6月22日(水)～6月24日(金) <2回目>2022年6月27日(月)～6月29日(水) ※2回開講。ご都合の良い日程をお選びください。
定員	15名(予定)

対象 索道の運行や油圧装置のメンテナンスに携わる方

概要	目標レベル
	●緊張装置・制動装置を動かす油圧装置の構造・メンテナンスを習得する ●主要部品の構造確認と調整ができる
	講習プログラム
	【油圧回路】 油圧機器の構造と回路 制動装置・緊張装置の油圧回路の読み方 【トラブルシューティング】 トラブル事例の原因とその対応策
	実習プログラム
	【油圧装置の構造と働き】 緊張装置・制動装置の動作と油圧制御の解説 【油圧ユニットの整備】 緊張および制動装置の油圧ユニットの実機を用いた主要部品の交換・調整とその注意点

上級コース

油圧・電気

油圧緊張ユニット・制動機油圧ユニットと電気回路の関係、ならびに油圧関係のトラブル対処方法を学びます。

開催日	2022年7月11日(月)～7月14日(木) ※本講座のみ、3泊4日
定員	16名(予定)
対象	「電気 B (旧：電気－中級)」および「油圧」の両コースを受講された方、または同等の知識を有する方※ ※上級者向け講座につき、油圧・電気の基礎知識が必要です。

概要	目標レベル
	●緊張装置・制動装置の油圧ユニットと電気回路の関係を習得する ●油圧関係のトラブルに対処できる
	講習プログラム
	【油圧回路と電気回路】 制動装置、緊張装置の油圧回路・電気回路の読み方 【油圧設備と電気設備の点検整備】 主な油圧機器の調整方法、電気機器の点検整備・寿命 【トラブルシューティング】 トラブル事例の原因とその対応策
	実習プログラム
	【制動機油圧ユニット】 サイリスタ制御盤およびAS模擬制御盤と制動機油圧ユニットの実機をつないでの、動作確認とトラブル対応 【油圧緊張ユニット】 油圧緊張制御盤と油圧緊張ユニットをつないでの、動作確認とトラブル対応 【油圧ユニットの整備】 緊張・制動機の油圧ユニットの実機を用いた主要部品の構造確認と調整



上級コース

モータ・制御システム

モータ・制御システムの種類と制御特性を学習します。
座学を中心とした講座となります。

開催日	2022年7月6日(水)～7月8日(金)
定員	15名(予定)
対象	保有する索道のモータと制御装置の関係や特性を理解している方で、制御更新の選定に役立つ知識を得たい方

概要	目標レベル
	●モータ・制御システムの種類と制御特性を習得する ●既存設備に最適なモータと制御システムを選定できる
	講習プログラム
	【制御システムの種類と特長】 モータ・制御システムの種類と制御特性の解説 【点検・整備】 主要部品の点検と保守 【制御システムの更新】 それぞれの特長を踏まえた制御システム更新の考え方
	実習プログラム
	【モータのオープンカットモデルを使用】 モータの種類と機器構成の解説



NC テクニカルセミナー 2022

感染症対策についてのお願い

セミナー開催にあたりましては、講習会場、使用設備の消毒を実施すると共に、受講者の皆様ならびに講師・スタッフの体調確認、手指消毒の励行、講習会場の換気を実施いたします。

主な感染対策として以下を実施するとともに、受講の条件とさせていただきますので、あらかじめご了承のうえお申し込みください。

1. 受講前の体調確認

受講前に体調の確認をさせていただきます。発熱、咳、咽頭痛、だるさ、息苦しさ、嗅覚異常等の症状が見られる場合は、受講を控えていただきます。

上記の症状によりセミナー初日より受講できなくなった場合は、受講料を返却させていただきます。

2. セミナー中の体調確認

セミナー 2 日目以降は、開始前に体調の確認をさせていただきます。また、セミナー中に発熱、咳、咽頭痛、だるさ、息苦しさ、嗅覚異常等の症状が見られた場合は、受講を控えていただきます。

セミナー開始後、上記の症状により受講ができなくなった場合は、受講料の返却はいたしかねます。

3. セミナー開始後の開催見合わせ

セミナー開始後に同一講座の受講者もしくは講師・スタッフに発熱、咳、咽頭痛、だるさ、息苦しさ、嗅覚異常等の症状が生じた場合、当該講座は中止とさせていただきます。

開講後に体調不良者が発生して中止となった場合は受講料を返却させていただきますが、体調不良が生じたご本人様には受講料の返却はできませんので、ご了承ください。

また、弊社講師・スタッフの体調等を理由とする途中中止を含め、何れの場合でも交通費・宿泊費（キャンセル料含む）は受講者様ご負担となります。

4. マスク着用をお願い

受講中は常時マスクの着用をお願いいたします。

また、講座の内容により実習時にフェイスシールドならびにゴム手袋の着用をお願いする場合があります。（フェイスシールド、ゴム手袋は弊社にてご用意いたします）

5. その他の感染防止対策

今年度は弊社による宿泊の手配、ならびに宿泊地からの送迎は行いません。受講者様側での宿泊手配ならびに受講期間中のご来場をお願いいたします。

セミナー会場の駐車場に限りがありますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。（お車でのお来場の際は、申込書にその旨を記載ください）

ご参考までに、近隣のビジネスホテルは以下のとおりです。

	ホテル名	住所	最寄り駅からの所要時間	電話番号
①	トーセイホテル&セミナー幕張 ※参加者ご優待あり	千葉県習志野市 茜浜 2-3-2	JR 京葉線新習志野駅 から徒歩約 2 分	047-452-0670
②	ホテルスプリングス幕張	千葉県千葉市美浜区 ひび野 1-11	JR 京葉線海浜幕張駅 から徒歩約 2 分	043-296-3111
③	ホテルグリーンタワー幕張	千葉県千葉市美浜区 ひび野 2-10-3	JR 京葉線海浜幕張駅 から徒歩約 3 分	043-296-1122
④	ホテルフランクス	千葉県千葉市美浜区 ひび野 2-10-2	JR 京葉線海浜幕張駅 から徒歩約 3 分	043-296-2111
⑤	ホテル ザ・マンハッタン	千葉県千葉市美浜区 ひび野 2-10-1	JR 京葉線海浜幕張駅 から徒歩約 4 分	043-275-1111
⑥	ホテルニューオータニ幕張	千葉県千葉市美浜区 ひび野 2-120-3	JR 京葉線海浜幕張駅 から徒歩約 5 分	043-297-7777
⑦	アパホテル&リゾート 〈東京ベイ幕張〉	千葉県千葉市美浜区 ひび野 2-3	JR 京葉線海浜幕張駅 から徒歩約 7 分	0570-070-111 (ナビダイヤル)

各ホテルの詳細はご自身でご確認のうえご手配ください。

①トーセイホテル&セミナー幕張は、上記ホテルの中で講習会場まで最も近く、徒歩で約 14 分となります。

②～⑦のホテルから講習会場までは、電車（JR 海浜幕張駅～新習志野駅）と徒歩で所要時間は約 30 分となります。

※①トーセイホテル&セミナー幕張は、「NC テクニカルセミナー」参加の旨をお伝えいただくとご優待料金での宿泊が可能です。（電話予約のみ）なお、空室状況により予約不可となる場合がございます。お早めにご予約ください。

ご優待料金：素泊まり 5,500 円 （+朝食 1,430 円 +駐車 1,000 円 / 泊）

「人材開発支援助成金」制度のご案内

雇用する労働者のキャリア形成を効果的に促進するため、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成する「人材開発支援助成金（所管：厚生労働省）」制度があり、要件を満たしていれば、NCテクニカルセミナー受講料についても適用されますので、ぜひ活用をご検討ください。

※この助成金は、全額事業者負担である雇用保険二事業で行われているため、支給対象事業主は「雇用保険適用事業所」であることが必要です。

【制度の概要】

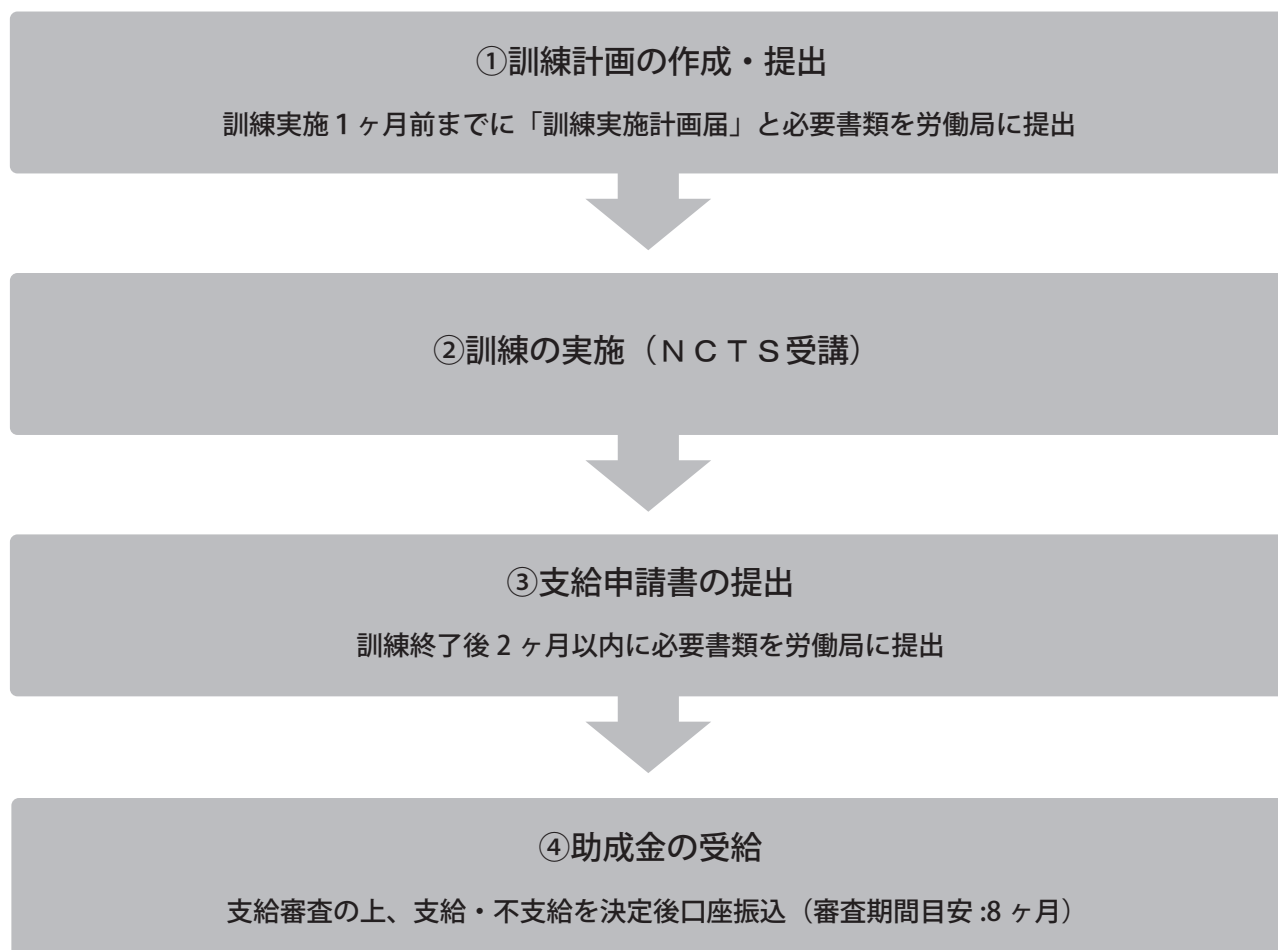
	特定訓練コース (若年労働者への訓練)	一般型訓練コース
訓練対象者	①雇用保険被保険者となった日から ^{*1} 5年以内かつ35歳未満対象 ②雇用保険の被保険者 (有期契約・短時間・派遣労働者を除く)	雇用保険の被保険者 (有期契約・短時間・派遣労働者を除く)
基 本 要 件	①通常の業務を離れて実施される訓練であること ②実訓練・講習時間が <u>10 時間以上</u> であること	①通常の業務を離れて実施される訓練であること ②実訓練・講習時間が <u>20 時間以上</u> であること
対 象 ^{*2}	中小企業 中小企業以外 事業主団体等	中小企業 事業主団体等
助成額・率	賃金助成： 1 時間あたり 760 円（380 円） 注：（ ）内は中小企業以外	賃金助成： 1 時間あたり 380 円
	経費助成：45%（30%） 注：（ ）内は中小企業以外	経費助成：30%
助成対象となる講座	2 泊 3 日日程の講座も含めすべての講座が助成対象 (実訓練・講習時間 14.5 時間)	①油圧・電気講座（3 泊 4 日日程） (実訓練・講習時間 20.5 時間) ②2 泊 3 日講座の連続受講 (実訓練・講習時間 29.0 時間)

^{*1} 令和 4 年度から変更。非正規雇用で一定年数雇用された方を正社員化して訓練を実施した場合も、新たに助成対象となりました。

^{*2} 中小企業事業主に該当するかは、「A 資本金の額または出資の総額」または「B 企業全体で常時雇用する労働者の数」によります。詳細は、厚生労働省ホームページをご覧ください。

※ 記載の制度内容は、2022 年 4 月現在のものです。

【受給手続きの流れ】



本制度の詳細につきましては、厚生労働省ホームページの「人材開発支援助成金」をご覧ください。各都道府県の労働局にお問い合わせください。

・インターネットでの検索：「人材開発支援助成金」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html